

統計資料 23-N0.19

平成23年度

学校基本調査結果報告書  
(島根県分)

平成24年2月

島根県政策企画局統計調査課

## 利 用 上 の 注 意

- 1 この報告書は、文部科学省が平成 23 年 5 月 1 日現在で調査を実施し、平成 24 年 2 月に公表した学校基本調査結果に基づき、本県分をまとめたものです。(数値については、文部科学省が公表した確定数です。)
- 2 この報告書は、県内に設置されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専修学校、各種学校について、本県が調査した結果を取りまとめたものです。なお、国立の学校並びに公私立の大学、短期大学及び高等専門学校は文部科学省が直接調査を行っていますが、このうち国立大学の附属の幼稚園、小学校、中学校については、この報告書に含めて数値を計上しています。  
(注) 国立の学校には、国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の設置する学校を含む。
- 3 統計表中の数字については、表章単位未満を四捨五入しているため、個々の数字の和が総数と一致しない場合があります。  
また、統計表中の符号は、次のとおりです。  
「－」…… 計数がない場合  
「…」…… 調査対象とならなかった場合又は不詳の場合  
「0.0」…… 数値が単位未満のもの  
「△」…… 減少の場合又は負数
- 4 年齢は、平成 23 年 4 月 1 日現在の満年齢です。
- 5 集計表については、島根県ホームページ「しまね統計情報データベース」に掲載しています。  
(<http://pref.shimane-toukei.jp/>)
- 6 この報告書についての問い合わせ先

〒690-8501 松江市殿町 1 番地 島根県政策企画局統計調査課 生活消費グループ TEL (0852) 22-5275 FAX (0852) 22-6044
---

# 目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	3
1	概要	3
2	学校調査	
	(1) 幼稚園	5
	(2) 小学校	7
	(3) 中学校	10
	(4) 高等学校（全日制課程・定時制課程）	13
	(5) 高等学校（通信制課程）	15
	(6) 特別支援学校	16
	(7) 専修学校	17
	(8) 各種学校	19
3	卒業後の状況調査	
	(1) 中学校	21
	(2) 高等学校（全日制課程・定時制課程）	22
	(3) 高等学校（通信制課程）	26
	(4) 特別支援学校	27
4	不就学学齢児童生徒調査	29
5	学校施設調査	30
統計表		
1	総括表	31
2	全国及び中国5県との比較	32
	(1) 学校調査	
	① 幼稚園	32
	② 小学校	33
	③ 中学校	34
	④ 高等学校（全日制課程・定時制課程）	35
	⑤ 専修学校	37
	⑥ 各種学校	37
	(2) 卒業後の状況調査	
	① 中学校	39
	② 高等学校	39

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、統計法に基づく基幹統計調査として、文部科学省が昭和 23 年から実施しているもので、学校教育法第 1 条に定める学校、同法第 124 条及び第 134 条に定める専修学校及び各種学校について調査し、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の範囲

- (1) 学校調査……幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校
- (2) 学校通信教育調査……通信制課程を置く高等学校及び中等教育学校
- (3) 不就学学齢児童生徒調査……不就学の学齢児童及び学齢生徒
- (4) 学校施設調査……私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校、公立の専修学校及び各種学校
- (5) 卒業後の状況調査……中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の中学部・高等部の卒業者

## 3 調査事項

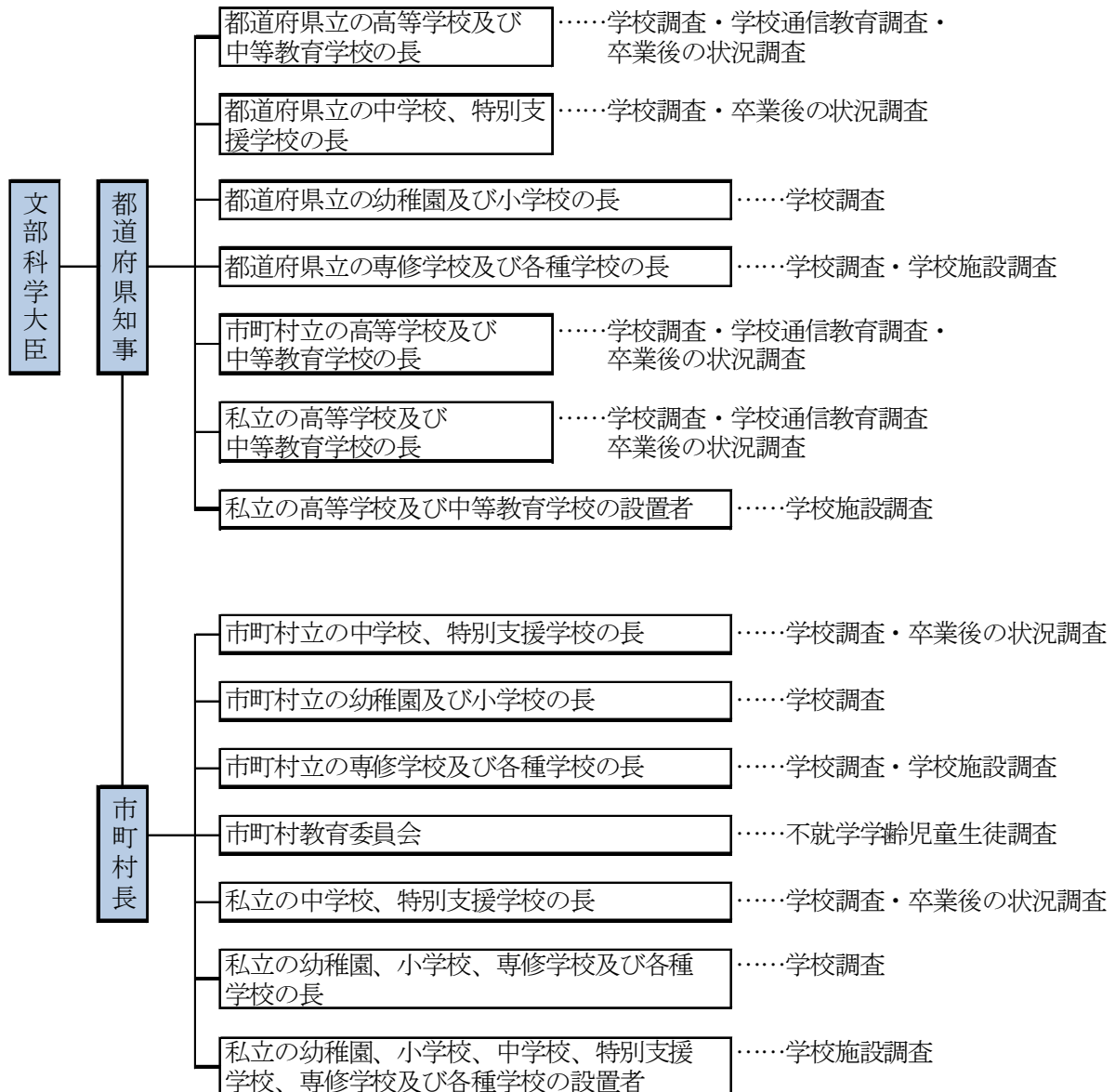
- (1) 学校調査
  - ① 学校の名称・種別及び所在地
  - ② 学校の特性に関する事項
  - ③ 学部、学科、課程又は学級に関する事項
  - ④ 教員及び職員の数
  - ⑤ 幼児又は児童、生徒の在籍状況及び出席状況
  - ⑥ 幼児又は児童、生徒の入学、卒業及び転出入の状況
- (2) 学校通信教育調査
  - ① 学校の名称・種別及び所在地
  - ② 学校の特性に関する事項
  - ③ 教員及び職員の数
  - ④ 生徒の在籍状況
  - ⑤ 生徒の入学、卒業、退学及び単位修得の状況
- (3) 不就学学齢児童生徒調査
  - ① 教育委員会の名称及び所在地
  - ② 学齢児童生徒の就学の免除及び猶予の状況
  - ③ 居所不明の学齢児童生徒の数
  - ④ 死亡した学齢児童生徒の数
- (4) 学校施設調査
  - ① 学校の名称・種別及び所在地
  - ② 学校の特性に関する事項
  - ③ 土地又は建物の用途別、構造別等の面積
  - ④ 土地又は建物の増減の状況
- (5) 卒業後の状況調査
  - ① 学校の名称・種別及び所在地
  - ② 学校の特性に関する事項
  - ③ 卒業者の卒業時における所属に関する事項
  - ④ 卒業者の進学、就職等の状況

#### 4 調査の実施時期

学校調査、学校通信教育調査、不就学学齢児童生徒調査及び学校施設調査は、平成 23 年 5 月 1 日現在

卒業後の状況調査は、平成 22 年度間の卒業生（高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の高等部にあつては、平成 21 年度以前の卒業生で上級の学校に入学を志願した者を含む。）について、平成 23 年 5 月 1 日現在

#### 5 調査系統



## Ⅱ 調査の結果

### 1 概要

#### (1) 幼稚園(表1、表2、図1)

- ① 園数は、116園で前年度より4園減少。
- ② 園児数は、4,762人で前年度より238人減少。昭和54年度のピークから平成7年度まで減少した後、平成8年度に増加。その後、平成9年度以降15年連続して減少。

#### (2) 小学校(表1、表2、図1)

- ① 学校数は、235校で前年度より11校減少。
- ② 児童数は、37,887人で前年度より522人減少。昭和33年度のピークから昭和52年度まで減少した後、昭和58年度まで増加。その後、昭和59年度以降28年連続して減少し、過去最低。

#### (3) 中学校(表1、表2、図1、表33、表34、表35)

- ① 学校数は、106校で前年度と同数。
- ② 生徒数は、19,918人で前年度より320人減少。昭和37年度のピークから昭和55年度まで減少した後、昭和58年度を除き、昭和62年度まで増加。その後、昭和63年度以降24年連続して減少し、過去最低。
- ③ 高等学校等への進学者数は、6,788人で前年度より212人減少。進学率〔通信制課程(本科)及び専修学校(高等課程)へ進学した者を除く〕は前年度より0.3ポイント低下し、98.1%。
- ④ 就職者数は、12人で前年度より1人減少。うち県内就職者は9人(75.0%)。就職率(就職進学者を含む)は前年度と同率で0.2%。

(注) 就職進学者とは、「高等学校等進学者」、「専修学校(高等課程)進学者」、「専修学校(一般課程)等入学者」、「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者をいう。

#### (4) 高等学校(表1、表2、図1、表36、表37、表38)

- ① 学校数は、50校で前年度と同数。
- ② 生徒数は、20,045人で前年度より163人減少。昭和40年度のピークから減少、増加を繰り返し、昭和62年度から平成2年度までは増加。その後、平成3年度以降21年連続して減少。
- ③ 大学等への進学者数は、3,001人で前年度より335人増加。進学率〔大学・短期大学の通信教育部及び専修学校(専門課程)へ進学した者を除く〕は、前年度より2.4ポイント低下し、47.2%。
- ④ 就職者数は、1,403人で前年度より49人減少。うち県内就職者は1020人(72.7%)。就職率(就職進学者を含む)は前年度より2.0ポイント上昇し、22.1%。

(注) 就職進学者とは、「大学等進学者」、「専修学校(専門課程)進学者」、「専修学校(一般課程)等入学者」、「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者をいう。

#### (5) 特別支援学校(表1)

- ① 学校数は、12校で前年度と同数。
- ② 在学者数は、906人で前年度より6人増加。

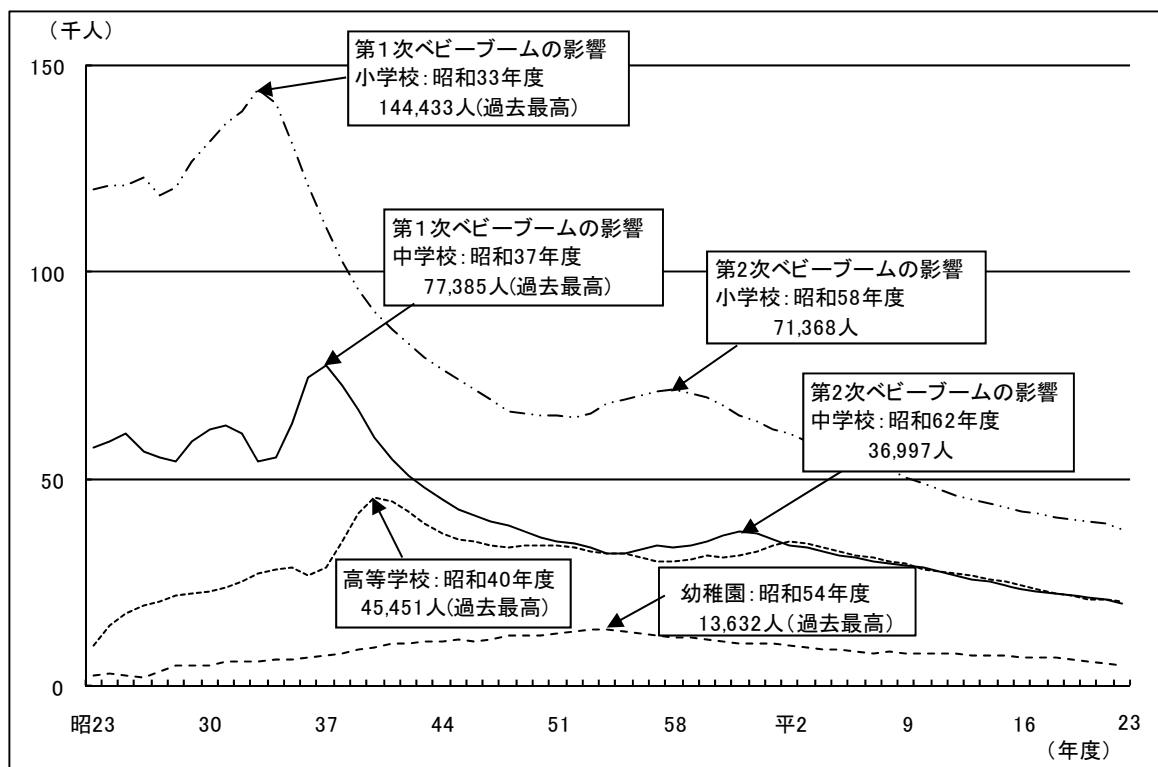
#### (6) 専修学校・各種学校(表1)

- ① 専修学校の学校数は、20校で前年度と同じ。各種学校の学校数は、31校で前年度より1校増加。
- ② 専修学校の生徒数は、2,355人で前年度より53人増加。各種学校の生徒数は、417人で前年度より63人増加。

表1 学校数、在学者数、教員数

区分	学校数(校)			在学者数(人)			教員数(本務者)(人)		
	平成22年度	平成23年度	増減数	平成22年度	平成23年度	増減数	平成22年度	平成23年度	増減数
計	584	570	△14	87,411	86,290	△1,121	8,793	8,673	△120
幼稚園	120	116	△4	5,000	4,762	△238	549	529	△20
小学校	246	235	△11	38,409	37,887	△522	3,429	3,344	△85
中学校	106	106	-	20,238	19,918	△320	1,963	1,954	△9
高等学校	50	50	-	20,208	20,045	△163	1,831	1,821	△10
特別支援学校	12	12	-	900	906	6	759	756	△3
専修学校	20	20	-	2,302	2,355	53	191	199	8
各種学校	30	31	1	354	417	63	71	70	△1

図1 児童・生徒数の推移



\*第1次ベビーブームはS22年からS24年まで、第2次ベビーブームはS46年からS49年まで

表2 児童・生徒数の推移

年度	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	年度	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
昭和23	2,446	120,204	57,672	9,609	55	13,132	69,267	31,975	31,615
24	2,753	121,080	59,110	14,268	56	12,423	70,335	32,775	30,971
25	2,322	120,882	60,969	17,332	57	11,781	70,967	33,940	29,805
26	1,944	123,131	56,489	19,339	<b>58</b>	11,493	<b>71,368</b>	33,515	29,682
27	3,229	118,362	54,902	20,131	59	11,346	70,600	33,883	30,298
28	4,537	120,404	54,045	21,874	60	10,832	69,528	34,857	31,252
29	4,661	126,814	58,811	22,174	61	10,353	67,654	36,452	30,755
30	4,818	131,803	61,759	22,657	<b>62</b>	10,252	65,500	<b>36,997</b>	31,289
31	5,582	135,774	62,802	23,673	63	10,174	63,610	36,574	32,476
32	5,495	138,938	60,999	25,224	平成元	9,971	61,942	35,276	34,013
<b>33</b>	5,815	<b>144,433</b>	54,035	26,835	2	9,486	60,713	33,961	34,664
34	6,186	140,945	55,018	28,060	3	9,175	59,187	33,068	34,467
35	6,178	130,897	63,109	28,481	4	8,803	57,715	32,386	33,352
36	6,603	120,899	74,411	26,654	5	8,428	56,505	31,534	32,350
<b>37</b>	7,137	110,882	<b>77,385</b>	28,569	6	8,206	55,219	30,653	31,570
38	7,638	102,338	72,570	34,591	7	7,873	53,850	29,753	31,056
39	8,771	95,611	66,696	41,662	8	7,935	52,078	29,480	30,152
<b>40</b>	9,129	90,541	59,855	<b>45,451</b>	9	7,771	50,494	28,849	29,236
41	9,888	86,072	54,616	44,344	10	7,751	48,981	28,262	28,096
42	9,901	82,514	50,721	42,037	11	7,637	47,276	27,363	27,638
43	10,307	79,412	47,793	39,216	12	7,427	46,023	26,696	26,968
44	10,750	76,301	44,969	36,899	13	7,202	44,994	25,793	26,411
45	10,872	74,038	42,406	35,347	14	7,029	43,942	24,848	25,554
46	10,532	71,668	40,918	34,584	15	6,965	43,064	23,865	24,945
47	11,048	68,921	39,547	34,032	16	6,789	42,134	23,191	24,216
48	12,041	66,345	38,591	33,539	17	6,747	41,500	22,439	23,276
49	12,189	65,655	37,184	33,778	18	6,595	40,672	22,018	22,343
50	12,105	65,262	35,767	33,844	19	6,213	40,104	21,562	21,724
51	12,420	65,032	34,747	33,939	20	5,665	39,645	21,238	20,922
52	13,013	64,567	34,239	33,432	21	5,267	39,009	20,744	20,523
53	13,629	65,820	33,297	32,501	22	5,000	38,409	20,238	20,208
<b>54</b>	<b>13,632</b>	68,016	31,997	31,738	<b>23</b>	<b>4,762</b>	<b>37,887</b>	<b>19,918</b>	<b>20,045</b>

## 2 学校調査

### (1) 幼稚園

#### ① 園数 (表 3)

幼稚園数は116園(国立1園、公立98園、私立17園)で、前年度より4園減少した。

表3 幼稚園の設置者別園数

区分	(園)			
	計	国立	公立	私立
平成13年度	130	1	110	19
18	123	1	105	17
19	123	1	105	17
20	123	1	105	17
21	121	1	103	17
22	120	1	102	17
23	116	1	98	17

#### ② 学級数 (表 4)

学級数は315学級で、前年度より14学級減少した。

#### ③ 園児数 (表 4)

園児数は4,762人(男子2,385人、女子2,377人)で、前年度より238人減少した。

(ア) 園児数を年齢別にみると、3歳児1,271人(全園児数の26.7%)、4歳児1,755人(36.9%)、5歳児1,736人(36.5%)であった。

(イ) 1学級当たりの園児数は15.1人で、前年度より0.1人減少した。

(ウ) 本務教員1人当たりの園児数は9.0人で、前年度より0.1人減少した。

表4 幼稚園の学級数及び年齢別園児数

区分	学級数	園 児 数				
		計	男	女	3歳	比率(%)
平成13年度	378	7,202	3,619	3,583	950	13.2
18	374	6,595	3,348	3,247	1,478	22.4
19	364	6,213	3,104	3,109	1,477	23.8
20	336	5,665	2,826	2,839	1,382	24.4
21	334	5,267	2,564	2,703	1,284	24.4
22	329	5,000	2,459	2,541	1,375	27.5
23	315	4,762	2,385	2,377	1,271	26.7

区分	園 児 数				(学級)(人)	
	4歳	比率(%)	5歳	比率(%)	1学級当たりの園児数	本務教員1人当たりの園児数
平成13年度	2,920	40.5	3,332	46.3	19.1	12.2
18	2,449	37.1	2,668	40.5	17.6	10.7
19	2,195	35.3	2,541	40.9	17.1	10.4
20	2,052	36.2	2,231	39.4	16.9	9.8
21	1,897	36.0	2,086	39.6	15.8	9.4
22	1,671	33.4	1,954	39.1	15.2	9.1
23	1,755	36.9	1,736	36.5	15.1	9.0



④ 修了者数及び就園率（表 5）

平成 23 年 3 月の幼稚園修了者数は 1,957 人で、前年度より 173 人減少した。

本年度小学校第 1 学年児童数（6,001 人）に対する幼稚園修了者数の比率（就園率）は 32.6%で、全国平均（55.7%）より 23.1 ポイント少なく、前年度より 2.6 ポイント低下した。

（注）小学校第 1 学年児童数は各年 5 月 1 日在籍者、幼稚園修了者数は各年 3 月修了者

表5 幼稚園の修了者数及び就園率

区 分	幼稚園 修了者数	小学校第1学年 児童数	就園率(%)	
			(人)	
			島根県	全国
平成13年度	3,419	7,174	47.7	60.6
18	2,761	6,497	42.5	57.7
19	2,718	6,574	41.3	57.2
20	2,570	6,558	39.2	56.7
21	2,301	6,249	36.8	56.4
22	2,130	6,055	35.2	56.2
23	1,957	6,001	32.6	55.7

⑤ 教職員数（表 6）

教員数（本務者）は 529 人（男子 48 人、女子 481 人）で、前年度より 20 人減少した。

（ア）教員数（本務者）のうち、女子教員の占める比率は 90.9%で、前年度より 0.9 ポイント低下した。

（イ）職員数（本務者）は 26 人で、前年度より 2 人減少した。

表6 幼稚園の教職員数

区 分	教員数		本務教員に占める 女子教員の比率 (%)	職員数 (本務者)
	(本務者)	うち女子教員		
平成13年度	588	533	90.6	41
18	617	564	91.4	30
19	596	539	90.4	31
20	576	521	90.5	30
21	558	510	91.4	30
22	549	504	91.8	28
23	529	481	90.9	26

## (2) 小学校

### ① 学校数 (表 7)

学校数は 235 校 (本校 229 校、分校 6 校) で、前年度より 11 校減少した。

(ア) 国立の学校数は 1 校で、前年度と同数であった。

(イ) 公立の学校数は 234 校で、前年度より 11 校減少した。

表7 小学校の設置者別学校数

区分	計	国立	公立		私立
			うち分校		
平成13年度	290	1	289	8	-
18	263	1	262	7	-
19	258	1	257	7	-
20	253	1	252	7	-
21	253	1	252	7	-
22	246	1	245	6	-
23	235	1	234	6	-

### ② 学級数 (表 8)

学級数は 2,046 学級で、前年度より 63 学級減少した。

(ア) 「単式学級」数は 1,555 学級で、前年度より 50 学級減少した。

(注) 「単式学級」とは、同学年の児童生徒で編制されている学級をいう。以下同じ。

(イ) 「複式学級」数は 164 学級で、前年度より 5 学級減少した。

(注) 「複式学級」とは、2 以上の学年の児童生徒で編制されている学級をいう。以下同じ。

(ウ) 「特別支援学級」数は 327 学級で、前年度より 8 学級減少した。

(注) 「特別支援学級」とは、学校教育法第 81 条第 2 項各号に該当する児童生徒 (知的障害者、肢体不自由者、身体虚弱者、弱視者、難聴者及びその他障害のある者で、特別支援学級において教育を行うことが適当な者) で編成されている学級をいう。以下同じ。

表8 小学校の編制方式別学級数

区分	計	(学級)		
		単式学級	複式学級	特別支援学級
平成13年度	2,237	1,778	218	241
18	2,184	1,663	211	310
19	2,171	1,648	198	325
20	2,141	1,635	181	325
21	2,142	1,624	185	333
22	2,109	1,605	169	335
23	2,046	1,555	164	327

③ 児童数（表 9）

児童数は 37,887 人（男子 19,364 人、女子 18,523 人）で、前年度より 522 人減少した。

また、10 年前の平成 13 年度と比較すると、7,107 人（15.8%）減少した。

（ア）第 1 学年の児童数は 6,001 人で、前年度より 54 人減少した。

（イ）1 学級当たりの児童数は 18.5 人で、前年度より 0.3 人増加した。

（ウ）本務教員 1 人当たりの児童数は 11.3 人で、前年度より 0.1 人増加した。

表9 小学校の学年別児童数

区分	計			第1学年	第2学年	第3学年
		男	女			
平成13年度	44,994	22,899	22,095	7,174	7,325	7,233
18	40,672	20,744	19,928	6,497	6,582	6,673
19	40,104	20,536	19,568	6,574	6,511	6,596
20	39,645	20,300	19,345	6,558	6,544	6,516
21	39,009	19,886	19,123	6,249	6,528	6,545
22	38,409	19,641	18,768	6,055	6,244	6,522
23	37,887	19,364	18,523	6,001	6,082	6,249

つづき

(人)

区分	第4学年	第5学年	第6学年	1学級当たりの児童数	本務教員一人当たりの児童数
平成13年度	7,591	7,706	7,965	20.1	12.2
18	6,864	6,911	7,145	18.6	11.5
19	6,663	6,843	6,917	18.5	11.4
20	6,566	6,631	6,830	18.5	11.4
21	6,495	6,565	6,627	18.2	11.2
22	6,546	6,488	6,554	18.2	11.2
23	6,522	6,536	6,497	18.5	11.3

④ 長期欠席者数（表 10）

平成 22 年度間に通算 30 日以上欠席した者は、290 人で、平成 21 年度間より 2 人増加した。

全児童数に占める「長期欠席者数」の比率は 0.76%（132 人に 1 人）で前年度の 0.74%（135 人に 1 人）より 0.02 ポイント上昇した。

（ア）理由別にみると、「病気」による者が 60 人で、前年度間より 3 人増加、「不登校」による者は 190 人で、前年度間より 7 人減少した。

（イ）全児童数に占める「不登校」の比率は、0.49%（202 人に 1 人）で、前年度の 0.51%（198 人に 1 人）より 0.02 ポイント低下した。

表10 長期欠席者数

(人)

区分	平成21年度間	平成22年度間	増減数	増減率(%)
計	288	290	2	0.7
病 気	57	60	3	5.3
不登校	197	190	△ 7	△ 3.6
経済的理由	1	0	△ 1	-
その他	33	40	7	21.2

(注) 欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由による。

- (注)「病気」: 本人の心身の故障等(けがを含む。)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席した者の数。  
「経済的理由」: 家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席した者の数。  
「不登校」: 何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者の数。  
「その他」: 上記「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由により長期欠席した者の数。

⑤ 教職員数(表 11)

教員数(本務者)は 3,344 人(男子 1,306 人、女子 2,038 人)で、前年度より 85 人減少した。

(ア) 教員数(本務者)のうち、女子教員の占める比率は 60.9%で、前年度より 0.1 ポイント低下した。

(イ) 職員数(本務者)は 458 人で、前年度より 17 人減少した。

表11 小学校の教職員数

区分	計	教員数(本務者)		本務教員に占める女子教員の比率(%)	職員数(本務者)
		男	女		
平成13年度	3,675	1,470	2,205	60.0	654
18	3,549	1,408	2,141	60.3	560
19	3,516	1,389	2,127	60.5	548
20	3,469	1,370	2,099	60.5	524
21	3,496	1,364	2,132	61.0	521
22	3,429	1,339	2,090	61.0	475
23	3,344	1,306	2,038	60.9	458

### (3) 中学校

#### ① 学校数 (表 12)

学校数は 106 校 (本校 104 校、分校 2 校) で、前年度と同じ。

(ア) 国立の学校数は 1 校、公立の学校数は 102 校、私立の学校数は 3 校で、いずれも前年度と同数であった。

表12 中学校の設置者別学校数

区分	計	国立	公立		私立
			うち分校		
平成13年度	115	1	111	2	3
18	111	1	107	2	3
19	108	1	104	2	3
20	108	1	104	2	3
21	108	1	104	2	3
22	106	1	102	2	3
23	106	1	102	2	3

#### ② 学級数 (表 13)

学級数は 830 学級で、前年度より 9 学級減少した。

(ア) 「単式学級」数は 659 学級で、前年度より 7 学級減少した。

(イ) 「複式学級」はなかった。

(ウ) 「特別支援学級」数は 171 学級で、前年度より 2 学級減少した。

表13 中学校の編制方式別学級数

区分	計	(学級)		
		単式学級	複式学級	特別支援学級
平成13年度	914	810		104
18	853	721	-	132
19	839	699	-	140
20	847	692	-	155
21	855	686	-	169
22	839	666	-	173
23	830	659	-	171

③ 生徒数（表 14）

生徒数は 19,918 人（男子 10,207 人、女子 9,711 人）で、前年度より 320 人減少した。

また、10 年前の平成 13 年度と比較すると、5,875 人（22.8%）減少した。

（ア）第 1 学年の生徒数は 6,531 人で、前年度より 58 人減少した。

（イ）1 学級当たりの生徒数は 24.0 人で、前年度より 0.1 人減少した。

（ウ）本務教員 1 人当たりの生徒数は 10.2 人で、前年度より 0.1 人減少した。

表 14 中学校の学年別生徒数

区分	計			第1学年	第2学年	第3学年
		男	女			
平成13年度	25,793	13,163	12,630	8,251	8,649	8,893
18	22,018	11,195	10,823	7,272	7,189	7,557
19	21,562	10,897	10,665	7,099	7,290	7,173
20	21,238	10,753	10,485	6,858	7,101	7,279
21	20,744	10,646	10,098	6,794	6,867	7,083
22	20,238	10,397	9,841	6,589	6,793	6,856
23	19,918	10,207	9,711	6,531	6,594	6,793

つづき (人)

区分	1学級当たりの生徒数	本務教員1人当たりの生徒数
平成13年度	28.2	12.3
18	25.8	11.1
19	25.7	11.0
20	25.1	10.8
21	24.3	10.5
22	24.1	10.3
23	24.0	10.2

④ 長期欠席者数（表 15）

平成 22 年度間に通算 30 日以上欠席した者は、677 人で、平成 21 年度間より 1 人減少した。全生徒数に占める「長期欠席者数」の比率は、3.35%（30 人に 1 人）で、前年度の 3.27%（31 人に 1 人）より、0.08 ポイント上昇した。

（ア）理由別にみると、「病気」による者が 57 人で、前年度間より 17 人減少、「不登校」による者は、572 人で、前年度間より 1 人増加した。

（イ）全生徒数に占める「不登校」の比率は、2.83%（35 人に 1 人）で、前年度の 2.75%（36 人に 1 人）より、0.08 ポイント上昇した。

表 15 長期欠席者数

(人)				
区分	平成21年度間	平成22年度間	増減数	増減率(%)
計	678	677	△ 1	△ 0.1
病 気	74	57	△ 17	△ 23.0
不登校	571	572	1	0.2
経済的理由	0	0	0	-
その他	33	48	15	45.5

⑤ 教職員数（表 16）

教員数（本務者）は 1,954 人（男子 1,111 人、女子 843 人）で、前年度より 9 人減少した。

（ア）教員数（本務者）のうち、女子教員の占める比率は 43.1%で、前年度より 0.1 ポイント上昇した。

（イ）職員数（本務者）は 223 人で、前年度より 3 人増加した。

表16 中学校の教職員数

区 分	計	教員数(本務者)		本務教員に占める 女子教員の比率(%)	職員数 (本務者)
		男	女		
平成13年度	2,099	1,264	835	39.8	257
18	1,991	1,180	811	40.7	245
19	1,959	1,155	804	41.0	231
20	1,961	1,144	817	41.7	236
21	1,979	1,153	826	41.7	234
22	1,963	1,119	844	43.0	220
23	1,954	1,111	843	43.1	223

#### (4) 高等学校（全日制課程・定時制課程）

##### ① 学校数（表 17）

学校数は 50 校（本校 46 校、分校 4 校）で、前年度と同数であった。

（ア）公立の学校数は 40 校、私立の学校数は 10 校で、いずれも前年度と同数であった。

表 17 高等学校の設置者別学校数

区分	計	公立		私立
			うち分校	
平成13年度	51	41	4	10
18	52	42	4	10
19	53	43	4	10
20	51	41	4	10
21	49	39	4	10
22	50	40	4	10
23	50	40	4	10

##### ② 生徒数（表 18、表 19）

生徒数は 20,045 人（男子 10,135 人、女子 9,910 人）で、前年度より 163 人減少した。また、全日制課程の生徒数は 19,626 人、定時制課程の生徒数は 419 人であった。

（ア）生徒数のうち本科の生徒数は 20,014 人、専攻科の生徒数は 31 人であった。

（イ）本科の全日制課程の生徒数は 19,595 人で、前年度より 164 人減少した。

（ウ）本科の定時制課程の生徒数は 419 人で、前年度より 7 人増加した。

（エ）本科の生徒数 20,014 人を学科別にみると、普通科が 12,770 人で最も多く、本科の生徒数のうち 63.8%を占めており、次いで商業科が 2,193 人（11.0%）、工業科が 1,585 人（7.9%）などであった。

（オ）本務教員 1 人当たりの生徒数は 11.0 人で、前年度と同数であった。

表 18 高等学校の生徒数

区分	(人)									
	計	計				本 科			専攻科	本務教員 1人当たりの 生徒数
		男	女	全日制	定時制	計	全日制	定時制	全日制	
平成13年度	26,411	13,188	13,223	25,959	452	26,385	25,933	452	26	12.5
18	22,343	11,410	10,933	21,911	432	22,318	21,886	432	25	11.4
19	21,724	11,089	10,635	21,308	416	21,698	21,282	416	26	11.3
20	20,922	10,662	10,260	20,509	413	20,893	20,480	413	29	11.2
21	20,523	10,399	10,124	20,145	378	20,489	20,111	378	34	11.2
22	20,208	10,196	10,012	19,796	412	20,171	19,759	412	37	11.0
23	20,045	10,135	9,910	19,626	419	20,014	19,595	419	31	11.0

（注）平成22年度数値について、一部報告もれがあったため、修正した数値を記載している。高等学校（全日制課程、定時制課程）について、以下同じ。



表19 高等学校(本科)の学科別生徒数

(人)(%)

区 分	計							
		普通	商業	工業	総合	農業	水産	情報
平成13年度	26,385	16,530	3,541	2,498	813	1,089	542	-
18	22,318	13,600	2,464	2,104	1,322	992	357	238
19	21,698	13,341	2,377	1,977	1,260	973	333	200
20	20,893	12,844	2,266	1,879	1,234	972	305	197
21	20,489	12,799	2,251	1,727	1,197	917	311	173
22	20,171	12,726	2,200	1,628	1,201	912	326	162
23	<b>20,014</b>	<b>12,770</b>	<b>2,193</b>	<b>1,585</b>	<b>1,186</b>	<b>879</b>	<b>318</b>	<b>123</b>
構成比	100.0	63.8	11.0	7.9	5.9	4.4	1.6	0.6
つづき (人)(%)								
区 分								
	福祉	家庭	看護	その他				
平成13年度	-	199	29	1,144				
18	-	186	4	1,051				
19	103	182	-	952				
20	95	184	-	917				
21	102	129	-	883				
22	101	74	-	841				
23	<b>94</b>	<b>24</b>	<b>-</b>	<b>842</b>				
構成比	0.5	0.1	0.0	4.2				

## ③ 入学者数(表20)

- 本科の入学者数は6,644人(男子3,420人、女子3,224人)で、前年度より192人減少した。  
 (ア) 全日制課程への入学者数は6,517人で、前年度より172人減少した。  
 (イ) 定時制課程への入学者数は127人で、前年度より20人減少した。

表20 高等学校(本科)の入学者数

(人)

区 分	計				
		男	女	全日制	定時制
平成13年度	8,857	4,484	4,373	8,690	167
18	7,371	3,807	3,564	7,256	115
19	7,285	3,719	3,566	7,163	122
20	6,805	3,407	3,398	6,680	125
21	6,970	3,498	3,472	6,874	96
22	6,836	3,430	3,406	6,689	147
23	<b>6,644</b>	<b>3,420</b>	<b>3,224</b>	<b>6,517</b>	<b>127</b>

## ④ 教職員数(表21)

- 教員数(本務者)は1,821人(男子1,304人、女子517人)で、前年度より10人減少した。  
 (ア) 全日制課程の教員数(本務者)は1,729人で、前年度より16人減少した。  
 (イ) 定時制課程の教員数(本務者)は92人で、前年度より6人増加した。  
 (ウ) 教員数(本務者)のうち、女子教員の占める比率は28.4%で、前年度より0.3ポイント上昇した。

(エ) 職員数（本務者）は 480 人で、前年度と同数であった。

表21 高等学校の教職員数

区分	計	教員数(本務者)				本務教員に占める女子教員の比率(%)	職員数(本務者)
		男	女	全日制	定時制		
平成13年度	2,109	1,559	550	2,025	84	26.1	518
18	1,956	1,426	530	1,878	78	27.1	461
19	1,925	1,399	526	1,849	76	27.3	471
20	1,866	1,348	518	1,792	74	27.8	460
21	1,839	1,321	518	1,765	74	28.2	442
22	1,831	1,317	514	1,745	86	28.1	480
23	1,821	1,304	517	1,729	92	28.4	480

### (5) 高等学校（通信制課程）

#### ① 学校数（表 22）

学校数は 3 校（いずれも併置校）で、前年度より 1 校減少した。

(ア) 公立の学校数は 2 校、私立の学校数は 1 校で、前年度より私立で 1 校減少した。なお、学科についてはいずれも普通科である。

(イ) 高等学校の通信教育について協力する高等学校（協力校）は 5 校で、前年度より 1 校増加した。

#### ② 生徒数（表 22）

生徒数は 1,857 人（男子 1,046 人、女子 811 人）で、前年度より 9 人減少した。

#### ③ 教職員数（表 22）

教員数（本務者）は 28 人で、前年度より 1 人減少した。

職員数（本務者）は 1 人で、前年度と同数であった。

表22 高等学校(通信制課程)の学校数、生徒数及び教職員数

区分	学校数	協力校	学科数	生徒数			教員数(本務者)			職員数(本務者)
				計	生徒数		計	教員数(本務者)		
					男	女		男	女	
平成13年度	2	4	2	1,997	1,228	769	30	21	9	4
18	2	4	2	1,857	1,059	798	32	18	14	4
19	3	4	3	1,931	1,100	831	40	25	15	4
20	3	4	3	1,852	1,069	783	39	25	14	4
21	3	4	3	1,870	1,057	813	36	23	13	4
22	4	4	4	1,866	1,034	832	29	18	11	1
23	3	5	3	1,857	1,046	811	28	16	12	1

(6) 特別支援学校

① 学校数 (表 23)

学校数は 12 校 (いずれも公立) で、前年度と同数であった。

② 在学者数 (表 23)

在学者数は 906 人 (男子 610 人、女子 296 人) で、前年度より 6 人増加した。

③ 教職員数 (表 23)

教員数 (本務者) は 756 人 (男子 271 人、女子 485 人) で、前年度より 3 人減少した。

(ア) 教員数 (本務者) のうち、女子教員の占める比率は 64.2% で、前年度より 1.0 ポイント低下した。

(イ) 職員数 (本務者) は 204 人で、前年度より 2 人減少した。

表23 特別支援学校の学校数、在学者数及び教職員数

区分	学校数	在学者数			教員数(本務者)			本務教員に占める女子教員の比率(%)	職員数 (本務者)
		計	男	女	計	男	女		
平成13年度	12	635	394	241	659	250	409	62.1	210
18	12	733	439	294	707	255	452	63.9	209
19	12	770	471	299	724	259	465	64.2	212
20	12	804	494	310	746	267	479	64.2	215
21	12	865	555	310	759	267	492	64.8	212
22	12	900	599	301	759	264	495	65.2	206
23	12	906	610	296	756	271	485	64.2	204

## (7) 専修学校

### ① 学校数 (表 24)

学校数は20校(公立2校、私立18校)で、前年度と同数であった。

学校数のうち、高等課程を置く学校は4校、専門課程を置く学校は18校であった。

表24 専修学校の設置者別学校数

区分	計	国立	公立	私立	(再掲)	
					高等課程を置く学校	専門課程を置く学校
					平成13年度	22
18	20	-	2	18	5	17
19	19	-	2	17	4	17
20	19	-	2	17	4	17
21	20	-	2	18	4	17
22	20	-	2	18	4	17
23	20	-	2	18	4	18

### ② 生徒数 (表 25、表 26)

生徒数は2,355人(男子1,045人、女子1,310人)で、前年度より53人増加した。

(ア) 高等課程の生徒数は155人で、前年度より1人増加した。

(イ) 専門課程の生徒数は2,198人で、前年度より52人増加した。

(ウ) 一般課程の生徒数は2人で、前年度と同数であった。

(エ) 生徒数を分野別にみると、最も多いのが「医療関係」1,262人(全生徒数の53.6%)で、次いで「教育・社会福祉関係」385人(16.3%)、「工業関係」236人(10.0%)、「衛生関係」224人(9.5%)などであった。

表25 専修学校の課程別生徒数

区分	計			高等課程	専門課程	一般課程
		男	女			
		平成13年度	2,361			
18	2,444	1,109	1,335	149	2,293	2
19	2,442	1,165	1,277	155	2,285	2
20	2,300	1,050	1,250	160	2,138	2
21	2,221	976	1,245	159	2,060	2
22	2,302	1,023	1,279	154	2,146	2
23	2,355	1,045	1,310	155	2,198	2

表26 専修学校の分野別生徒数及び学科数

(人)(科)

区 分	計	分野別						
		工業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平成13年度	2,361	165	1,337	181	447	162	44	25
18	2,444	206	1,407	215	431	109	8	68
19	2,442	273	1,421	214	370	98	2	64
20	2,300	245	1,386	206	283	109	2	69
21	2,221	244	1,242	216	319	126	2	72
22	2,302	252	1,214	212	396	139	2	87
23	2,355	236	1,262	224	385	120	2	126
学科数	43	6	17	10	4	1	1	4

(注) 学科としては、「工業関係」には自動車整備、情報処理、「医療関係」には看護、准看護、歯科衛生、歯科技工、理学・作業療法、その他、「衛生関係」には調理、理容、美容、製菓・製パン、「教育・社会福祉関係」には保育士養成、介護福祉、「商業実務関係」には経営、「服飾・家政関係」には和洋裁、「文化・教養関係」にはデザイン、動物などがある。

③ 入学者数 (表 27)

- 入学者数 (平成 23 年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの 1 か月間の入学者数) は 1,050 人 (男子 473 人、女子 577 人) で、前年度より 25 人増加した。
- (ア) 高等課程への入学者は 119 人で、前年度より 4 人減少した。
- (イ) 専門課程への入学者は 931 人で、前年度より 29 人増加した。
- (ウ) 一般課程への入学者はなかった。

表27 専修学校の入学者数

(人)

区 分	計	入学者数				
		男	女	高等課程	専門課程	一般課程
平成13年度	975	368	607	105	868	2
18	1,059	496	563	109	950	-
19	951	440	511	122	829	-
20	860	357	503	119	741	-
21	957	421	536	129	828	-
22	1,025	464	561	123	902	-
23	1,050	473	577	119	931	-

④ 卒業者数 (表 28)

- 卒業者数 (平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 1 年間の卒業者数) は 868 人 (男子 375 人、女子 493 人) で、前年度間より 45 人増加した。
- (ア) 高等課程の卒業者数は 117 人で、前年度間より 6 人増加した。
- (イ) 専門課程の卒業者数は 751 人で、前年度間より 39 人増加した。
- (ウ) 一般課程の卒業者数はなかった。

表28 専修学校の卒業生数

(人)

区 分	計	卒業生数				
		男	女	高等課程	専門課程	一般課程
平成13年度間	790	268	522	101	689	-
17	951	362	589	134	817	-
18	804	313	491	102	702	-
19	874	404	470	105	769	-
20	881	422	459	118	763	-
21	823	352	471	111	712	-
22	868	375	493	117	751	-

⑤ 教職員数 (表 29)

教員数(本務者)は199人(男子88人、女子111人)で、前年度より8人増加した。

(ア) 教員数(本務者)のうち、女子教員の占める比率は55.8%で、前年度より1.9ポイント上昇した。

(イ) 職員数(本務者)は89人で、前年度より2人減少した。

表29 専修学校の教職員数

(人)

区分	計	教員数(本務者)		本務教員に占める女子教員の比率(%)	職員数(本務者)
		男	女		
平成13年度	168	73	95	56.5	74
18	194	92	102	52.6	97
19	202	96	106	52.5	99
20	195	90	105	53.8	90
21	191	88	103	53.9	86
22	191	88	103	53.9	91
23	199	88	111	55.8	89

(8) 各種学校

① 学校数 (表 30)

学校数は31校(いずれも私立)で前年度より1校増加した。

② 生徒数 (表 30、表 31)

生徒数は417人(男子199人、女子218人)で、前年度より63人増加した。

生徒数を分野別にみると、最も多いのが「医療関係」116人(全生徒数の27.8%)で、次いで、「自動車操縦」114人(27.3%)、「商業実務関係」82人(19.7%)などであった。

③ 教職員数 (表 30)

教員数(本務者)は70人で、前年度より1人減少した。

職員数(本務者)は19人で、前年度より3人減少した。

表30 各種学校の設置者別学校数、生徒数及び教職員数

区 分	学校数	生徒数			教員数 (本務者)	職員数 (本務者)
		計	男	女		
平成13年度	12	689	357	332	75	33
18	9	511	222	289	71	36
19	9	496	252	244	65	35
20	9	462	231	231	69	39
21	9	357	181	176	50	33
22	30(21)	354	180	174	71	22
<b>23</b>	<b>31(22)</b>	<b>417</b>	<b>199</b>	<b>218</b>	<b>70</b>	<b>19</b>

(注) ( )はうち分校数。

表31 各種学校の分野別生徒数及び課程数

区 分	計	(人)(課程)				
		医 療	衛 生	商業実務	予備校	自動車操縦
平成22年度	354	112	25	50	69	98
<b>23</b>	<b>417</b>	<b>116</b>	<b>31</b>	<b>82</b>	<b>74</b>	<b>114</b>
課程数	23	2	1	13	1	6

(注)「医療関係」には准看護、「衛生関係」には理容の課程がある。

④ 入学者数 (表 32)

入学者数 (平成 23 年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの 1 か月間の入学者数) は 310 人 (男子 167 人、女子 143 人) で、前年度より 46 人増加した。

⑤ 卒業者数 (表 32)

卒業者数 (平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 1 年間の卒業者数) は 1,388 人 (男子 760 人、女子 628 人) であり、前年度より 68 人減少した。

表32 各種学校の入学者数及び卒業者数

区 分	入学者数(当該年度)			卒業者数(前年度間)		
	計	男	女	計	男	女
平成13年度	373	192	181	2,775	1,634	1,141
18	275	111	164	2,353	1,363	990
19	351	203	148	2,437	1,463	974
20	314	177	137	2,607	1,467	1,140
21	220	122	98	2,639	1,542	1,097
22	264	145	119	1,456	832	624
<b>23</b>	<b>310</b>	<b>167</b>	<b>143</b>	<b>1,388</b>	<b>760</b>	<b>628</b>

### 3 卒業後の状況調査

#### (1) 中学校卒業生

##### ① 卒業生数 (表 33)

平成 23 年 3 月の卒業生は 6,860 人 (男子 3,506 人、女子 3,354 人) で、前年より 208 人減少した。

##### ② 卒業生の状況 (表 33)

卒業生を状況別にみると、「高等学校等進学者 (就職進学者を含む)」6,788 人、「専修学校 (高等課程) 進学者」2 人、「専修学校 (一般課程) 等入学者」3 人、「公共職業能力開発施設等入学者」4 人、「就職者」12 人、「左記以外の者」51 人、「不詳・死亡の者」0 人であった。

表33 状況別卒業生数(中学校)

区分	卒業生数			A		B	C	D	E	F
	計	男	女	高等学校等進学者	うち通信制を除く	専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者(左記A~Dを除く)	左記以外の者
平成13年度	9,181	4,713	4,468	8,935	8,878	18	11	17	127	72
18	7,677	3,945	3,732	7,537	7,467	7	7	13	52	61
19	7,563	3,871	3,692	7,449	7,390	1	2	8	37	66
20	7,165	3,630	3,535	7,074	6,993	5	5	10	30	41
21	7,274	3,686	3,588	7,193	7,134	8	3	6	14	49
22	7,068	3,541	3,527	7,000	6,955	3	2	6	12	45
23	6,860	3,506	3,354	6,788	6,731	2	3	4	12	51

つづき

区分	G	上記ABCDのうち就職している者		高等学校等進学率	専修学校(高等課程)進学率	就職率
	不詳・死亡の者	うち通信制を除く	うち通信制を除く	うち通信制を除く	うち通信制を除く	うち通信制を除く
平成13年度	1	25	97.3	96.7	0.2	1.7
18	-	4	98.2	97.3	0.1	0.7
19	-	1	98.5	97.7	0.0	0.5
20	-	9	98.7	97.6	0.1	0.5
21	1	2	98.9	98.1	0.1	0.2
22	-	1	99.0	98.4	0.0	0.2
23	-	-	99.0	98.1	0.0	0.2

(注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部の本科、別科及び高等専門学校へ進んだ者である。また、進学しかつ就職した者を含む。以下同じ。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)及び各種学校へ入学した者である。以下同じ。

3 「就職率」とは、卒業生のうち「E就職者(左記A~Dを除く)」及び「上記ABCDのうち就職している者」の占める割合である。以下同じ。

##### ③ 進学状況(表 33、図 2、表 34)

###### (ア) 高等学校等進学者

高等学校等進学者 (就職進学者を含む) は 6,788 人 (男子 3,465 人、女子 3,323 人) で、前年より 212 人減少した。

高等学校等進学率 (通信制課程含む) は 99.0% (男子 98.8%、女子 99.1%) で前年と同率であった。進学先別にみると、高等学校本科全日制が 6,324 人と最も多く、次いで、高等専門学校 209 人、高等学校定時制 102 人であった。

###### (イ) 専修学校 (高等課程) 進学者

専修学校 (高等課程) 進学者は 2 人 (男子 0 人、女子 2 人) であった。

図2 中学校の卒業生数、進学率の推移

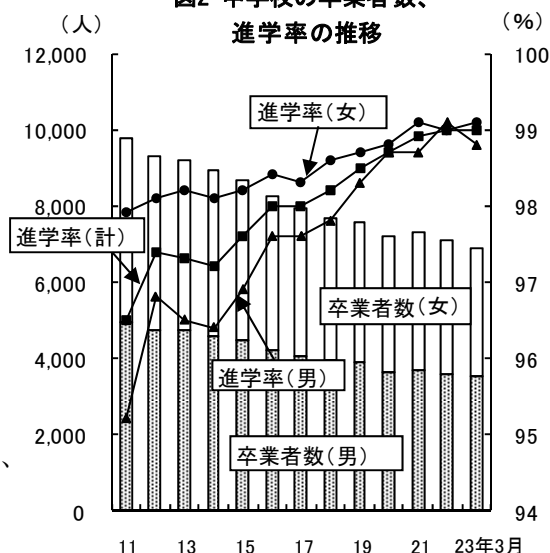




表34 高等学校等進学者数

(人)

区 分	計	高 等 学 校					高等専 門学校	特別支援学校		
		計	本 科			別 科		高 等 部		
			全日制	定時制	通信制			計	本 科	別 科
計	6,788	6,483	6,324	102	57	-	209	96	96	-
男	3,465	3,223	3,158	45	20	-	176	66	66	-
女	3,323	3,260	3,166	57	37	-	33	30	30	-

## ④ 就職状況（表 33、表 35）

就職者総数は、12人（男子8人、女子4人）で、前年より1人減少した。

（ア）就職率は0.2%（男子0.2%、女子0.1%）で、前年と同率であった。

（イ）就職先を県内県外別にみると、県内9人で、県外3人であった。

（ウ）産業別にみると、第1次産業0人、第2次産業5人、第3次産業7人であった。

表35 産業別就職者数

(人)

区 分	計	県内県外別		産 業 別			
		県内	県外	第1次産業	第2次産業	第3次産業	左記以外のもの
平成13年度	152	149	3	7	75	61	9
18	56	48	8	2	17	33	4
19	38	35	3	3	16	19	-
20	39	38	1	2	17	18	2
21	16	15	1	1	9	6	-
22	13	11	2	-	6	7	-
23	12	9	3	-	5	7	-
男	8	7	1	-	5	3	-
女	4	2	2	-	-	4	-

（注）産業分類については、25、26ページの表39-1、39-2、39-3を参照。

## (2) 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生

## ① 卒業生数（表 36）

平成23年3月の高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生数は6,360人（男子3,220人、女子3,140人）で、前年より369人減少した。

## ② 卒業生の状況（表 36）

卒業生を状況別にみると、「大学等進学者」3,001人、「専修学校（専門課程）進学者」1,381人、「専修学校（一般課程）等入学者」208人、「公共職業能力開発施設等入学者」80人、「就職者」1,401人、「一時的な仕事に就いた者」28人、「左記以外の者」261人、「不詳・死亡の者」0人であった。

表36 状況別卒業生数(高等学校)

区分	卒業生数			A		B	C	D	E	F
	計	男	女	大学等進学者	うち通信教育部を除く	専修学校(専門課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者(左記A~Dを除く)	一時的な仕事に就いた者
平成13年度	8,667	4,432	4,235	3,649	3,649	1,751	353	102	2,178	...
18	7,701	3,949	3,752	3,394	3,394	1,791	245	98	1,770	69
19	7,371	3,754	3,617	3,355	3,355	1,639	260	74	1,709	53
20	7,024	3,543	3,481	3,221	3,220	1,420	227	90	1,724	27
21	6,852	3,527	3,325	3,254	3,254	1,375	181	75	1,628	37
22	6,729	3,443	3,286	3,336	3,332	1,347	223	106	1,353	28
<b>23</b>	<b>6,360</b>	<b>3,220</b>	<b>3,140</b>	<b>3,001</b>	<b>3,001</b>	<b>1,381</b>	<b>208</b>	<b>80</b>	<b>1,401</b>	<b>28</b>

区分	つづき (人) (%)						
	G 左記以外の者	H 不詳・死亡の者	上記ABC Dのうち就職している者	大学等進学率	うち通信教育部を除く	専修学校(専門課程)進学率	就職率
平成13年度	614	20	12	42.1	42.1	20.2	25.3
18	334	-	6	44.1	44.1	23.3	23.1
19	281	-	1	45.5	45.5	22.2	23.2
20	315	-	2	45.9	45.8	20.2	24.6
21	301	1	3	47.5	47.5	20.1	23.8
22	332	4	1	49.6	49.5	20.0	20.1
<b>23</b>	<b>261</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>47.2</b>	<b>47.2</b>	<b>21.7</b>	<b>22.1</b>

(注)1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科及び高等学校等の専攻科への進学者である。また、進学しかつ就職した者を含む。以下同じ。  
 2 「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を目的とする仕事(アルバイト、パート等)に就いた者である。

③ 進学状況(表36、図3)

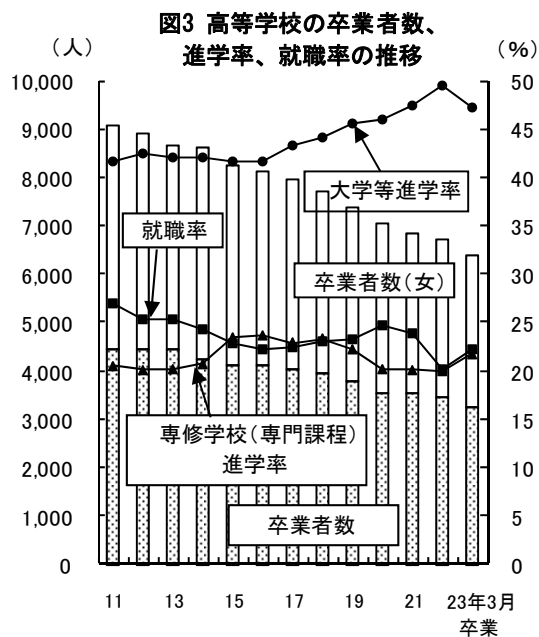
(ア) 大学等進学者

大学等進学者数(通信課程含む)は3,001人(男子1,398人、女子1,603人)で、前年より335人減少した。

大学等進学率(全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率)は47.2%(男子43.4%、女子51.1%)で、前年より2.4ポイント低下した。

(イ) 専修学校(専門課程)進学者

専修学校(専門課程)進学者数は1,381人(男子609人、女子772人)で、前年より34人増加した。



④ 就職状況（表 36、表 37、表 38、表 39、表 40、図 4）

就職者総数は、就職進学者 2 人を含めて 1,403 人（男子 856 人、女子 547 人）で、前年より 49 人増加した。また、就職者総数を 10 年前の平成 13 年度と比較すると、787 人（35.9%）減少した。

（ア）就職率は 22.1%（男子 26.6%、女子 17.4%）で、前年より 2.0 ポイント上昇した。

（イ）就職先を県内県外別にみると、県内 1,020 人（男子 583 人、女子 437 人）、県外 383 人（男子 273 人、女子 110 人）で、前年より県内は 99 人増加し、県外は 50 人減少した。

（ウ）県内就職率は 72.7%（男子 68.1%、女子 79.9%）で、前年より 4.7 ポイント上昇した。

地域別に県内就職率をみると、出雲地域が 83.6%、石見地域が 55.3%、隠岐地域が 51.4% であった。

表37 地域別県内県外別就職者数

区 分	(人)(%)																
	県 計				出 雲 地 域				石 見 地 域				隠 岐 地 域				
	就 職 者 数			県内 就職率	就 職 者 数			県内 就職率	就 職 者 数			県内 就職率	就 職 者 数			県内 就職率	
	計	県内	県外		計	県内	県外		計	県内	県外		計	県内	県外		
平成13年度	2,190	1,540	650	70.3	1,313	1,088	225	82.9	824	418	406	50.7	53	34	19	64.2	
18	1,776	1,158	618	65.2	1,110	863	247	77.7	616	267	349	43.3	50	28	22	56.0	
19	1,710	1,020	690	59.6	1,051	775	276	73.7	598	223	375	37.3	61	22	39	36.1	
20	1,726	1,073	653	62.2	1,079	811	268	75.2	604	235	369	38.9	43	27	16	62.8	
21	1,631	1,029	602	63.1	1,008	788	220	78.2	581	215	366	37.0	42	26	16	61.9	
22	1,354	921	433	68.0	840	680	160	81.0	485	222	263	45.8	29	19	10	65.5	
23	1,403	1,020	383	72.7	867	725	142	83.6	499	276	223	55.3	37	19	18	51.4	
男	856	583	273	68.1	522	419	103	80.3	312	153	159	49.0	22	11	11	50.0	
女	547	437	110	79.9	345	306	39	88.7	187	123	64	65.8	15	8	7	53.3	

\* 地域別の内訳は、次のとおりです。

出雲地域：松江市、出雲市、安来市、雲南市、東出雲町、奥出雲町、飯南町、斐川町

石見地域：浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町

隠岐地域：海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町

（エ）県外就職者を都道府県別にみると、最も多いのは、広島県の 174 人（45.4%）、次いで大阪府の 75 人（19.6%）、鳥取県の 36 人（9.4%）、東京都の 17 人（4.4%）、兵庫県の 16 人（4.2%）、愛知県の 15 人（3.9%）、山口県の 13 人（3.4%）などであった。

表38 県外就職者数

区 分	(人)											
	就 職 者 数			広島県	大阪府	鳥取県	東京都	兵庫県	愛知県	山口県	岡山県	その他
	計	県内	県外									
平成13年度	2,190	1,540	650	198	207	41	41	37	24	26	16	60
18	1,776	1,158	618	222	139	39	49	19	34	24	18	74
19	1,710	1,020	690	250	161	55	38	27	38	20	20	81
20	1,726	1,073	653	262	158	30	39	19	34	19	8	84
21	1,631	1,029	602	260	128	26	36	18	23	18	7	86
22	1,354	921	433	164	84	17	33	22	18	21	3	71
23	1,403	1,020	383	174	75	36	17	16	15	13	8	29

(オ) 産業部門別にみると第1次産業 35人 (2.5%)、第2次産業 667人 (47.5%)、第3次産業 675人 (48.1%)、その他のもの 26人 (1.9%) であった。

産業別にみると、最も多いのは、製造業の 534人 (38.1%)、次いで卸売業、小売業の 163人 (11.6%)、建設業の 133人 (9.5%)、宿泊業、飲食サービス業の 96人 (6.8%) などであった。

また、平成13年度と平成23年度を比較して産業別に就職者数をみると、製造業が 772人 (構成比 35.3%) から 534人 (38.1%)、卸売業、小売業が 414人 (18.9%) から 163人 (11.6%)、建設業が 282人 (12.9%) から 133人 (9.5%) とそれぞれ減少した。

図4 高等学校卒業者の産業部門別及び産業別就職者数の比率

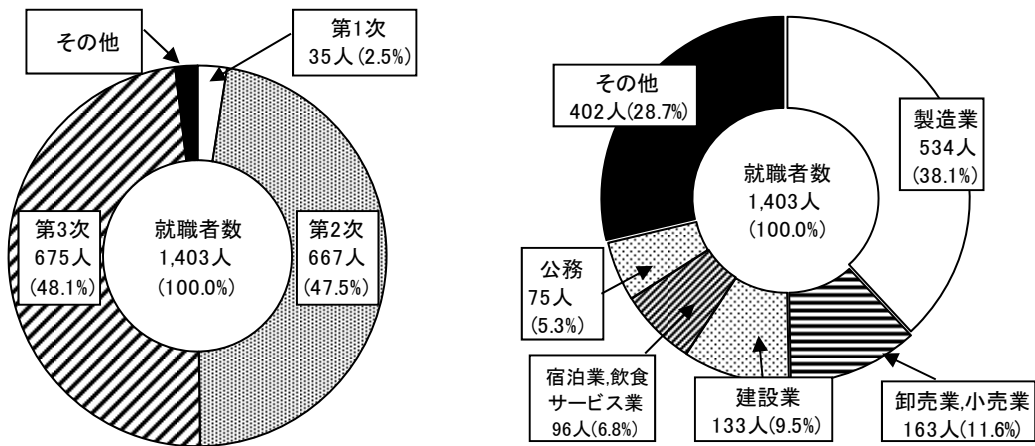


表39-1 産業別就職者数 (その1) (人)

区分	計	第1次産業			第2次産業			第3次産業							左記以外のもの
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業	卸売、小売業	金融、保険業	不動産業	サービス業	公務 (他に分類されないもの)	
平成13年度	2,190	12	2	11	-	282	772	36	68	414	15	-	444	82	52

(注) 日本標準産業分類の改訂があり、表39-1は平成14年3月改訂前、表39-2は平成14年3月改訂後、表39-3は平成19年11月改訂後で産業分類の接続を示している。

表39-2 産業別就職者数 (その2) (人)

区分	計	第1次産業			第2次産業		
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業
平成18年度	1,776	11	1	4	1	172	692
19	1,710	5	2	6	3	137	788

つづき (人)

区分	第3次産業											左記以外のもの	
	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売、小売業	金融、保険業	不動産業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業		公務 (他に分類されないもの)
平成18年度	25	18	46	233	18	-	116	56	2	98	172	82	29
19	28	10	36	205	20	-	125	45	5	32	143	102	18

表39-3 産業別就職者数(その3)

(人)

区分	計	第1次産業		第2次産業			第3次産業				
		農業,林業	漁業	鉱業,採石業,砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業,郵便業	卸売業,小売業	金融業,保険業
平成20年度	1,726	11	12	2	121	785	22	10	49	240	21
21	1,631	13	4	1	119	756	27	17	46	197	7
22	1,354	14	3	-	158	429	25	12	43	158	6
23	1,403	29	6	-	133	534	25	8	26	163	6

つづき

(人)

区分	第3次産業									左記以外のもの
	不動産業,物品賃貸業	学術研究,専門・技術サービス業	宿泊業,飲食サービス業	生活関連サービス業,娯楽業	教育,学習支援業	医療,福祉	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)	公務(他に分類されるものを除く)	
平成20年度	4	-	113	53	4	53	27	81	95	23
21	1	6	122	56	4	61	31	67	79	17
22	-	6	150	57	4	79	40	63	63	44
23	5	5	96	56	5	86	33	86	75	26

(注)「左記以外のもの」とは、「分類不能の産業」、「就職先の産業別が不明のもの」である。

(カ) 職業別にみると、最も多いのは、生産工程従事者の561人(40.0%)、次いでサービス職業従事者の249人(17.7%)、販売従事者の114人(8.1%)、事務従事者106人(7.6%)、専門的・技術的職業従事者の94人(6.7%)などであった。

表40 職業別就職者数

(人)

区分	計	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林漁業従事者		輸送・機械運転従事者	生産工程従事者	左記以外の者
							農林業従事者	漁業従事者			
平成13年度	2,190	98	210	296	346	66	10	12	105	962	85
18	1,776	84	150	213	313	81	9	3	30	847	46
19	1,710	109	128	174	252	66	3	6	28	878	66
20	1,726	95	153	200	204	78	11	10	35	890	50
21	1,631	147	112	167	211	81	13	3	28	841	28
22	1,354	143	118	125	236	61	13	3	31	563	61
23	1,403	94	106	114	249	78	25	6	47	561	123

(注)「左記以外の者」とは、分類不能の職業従事者である。

### (3) 高等学校(通信制課程)卒業者

#### ① 卒業生数(表41)

平成22年度間の高等学校(通信制課程)の卒業生数は239人(男子111人、女子128人)で、前年度間より3人減少した。

#### ② 卒業生の状況(表41)

卒業生を状況別にみると、「大学等進学者」34人、「専修学校(専門課程)進学者」79人、「公共職業能力開発施設等入学者」5人、「就職者」23人、「左記以外の者」97人であった。

表41 状況別卒業生数(高等学校)(通信制課程)

区分	卒業生数			A		B 専修学校 (専門課程) 進学者	C 専修学校 (一般課程) 等入学者	D 公共職業 能力開発施 設等入学者	E 就職者 (左記A~D を除く)
	計	男	女	大学等進 学者	うち通信教 育部を除く				
平成12年度間	171	80	91	19	18	5	22	2	37
17	202	88	114	21	20	47	9	2	10
18	205	96	109	38	38	43	7	-	33
19	209	85	124	35	34	48	1	8	23
20	205	96	109	34	34	37	-	5	7
21	242	113	129	25	23	74	3	2	18
22	239	111	128	34	31	79	1	5	23

(人)(%)

区分	F	G	上記ABCD のうち就職し ている者	大学等進 学率	うち通信教 育部を除く	専修学校 (専門課程) 進学率	就職率
	左記以外 の者	不詳・死亡 の者					
平成12年度間	47	39	-	11.1	10.5	2.9	21.6
17	65	48	-	10.4	9.9	23.3	5.0
18	76	8	-	18.5	18.5	21.0	16.1
19	87	7	-	16.7	16.3	23.0	11.0
20	122	-	-	16.6	16.6	18.0	3.4
21	120	-	-	10.3	9.5	30.6	7.4
22	97	-	-	14.2	13.0	33.1	9.6

(4) 特別支援学校(中学部・高等部)卒業生

特別支援学校(中学部)卒業生

① 卒業生数(表42)

平成23年3月の特別支援学校の中学部卒業生数は67人(男子46人、女子21人)で、前年より13人増加した。

② 進学状況(表42)

高等学校等進学者数(高等学校の通信制課程(本科)への進学者数を含む)は、61人であった。

表42 状況別卒業生数(特別支援学校)(中学部)

区分	卒業生数			A		B 専修学校 (高等課程) 進学者	C 専修学校 (一般課程) 等入学者	D 公共職業 能力開発施 設等入学者	E 就職者 (左記A~D を除く)	F
	計	男	女	高等学校等 進学者	うち通信課 程を除く					
平成13年度	51	28	23	36	36	-	-	-	-	15
18	49	25	24	35	35	-	-	-	4	10
19	45	22	23	45	45	-	-	-	-	-
20	61	39	22	61	61	-	-	-	-	-
21	49	28	21	48	48	-	-	-	-	1
22	54	38	16	51	51	3	-	-	-	-
23	67	46	21	61	61	6	-	-	-	-

(人)(%)

区分	G	上記ABCD のうち就職し ている者	高等学校 等進学率	うち通信課 程を除く	専修学校 (高等課程) 進学率	就職率
	不詳・死亡 の者					
平成13年度	-	-	70.6	70.6	-	-
18	-	-	71.4	71.4	-	8.2
19	-	-	100.0	100.0	-	-
20	-	-	100.0	100.0	-	-
21	-	-	98.0	98.0	-	-
22	-	-	94.4	94.4	5.6	-
23	-	-	91.0	91.0	9.0	-

## 特別支援学校(高等部)卒業生

### ① 卒業生数(表 43)

平成 23 年 3 月の特別支援学校の高等部卒業生数は 158 人(男子 94 人、女子 64 人)で、前年より 2 人増加した。

### ② 進学状況(表 43)

大学等進学者数(大学・短期大学の通信教育部への進学者数を含む)は、2 人であった。

### ③ 就職状況(表 43)

就職者総数は、52 人(全卒業生数に占める比率 32.9%)であった。

表 43 状況別卒業生数(特別支援学校)(高等部)

区分	卒業生数			A		B	C	D	E	F	(人)(%)
	計	男	女	大学等 進学者	うち通信教 育部を除く	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発施 設等入学者	就職者 (左記A~D を除く)	左記以外 の者	
平成13年度	104	62	42	4	4	2	2	1	22	73	
18	117	75	42	3	3	-	-	3	51	60	
19	117	72	45	5	4	-	2	2	50	58	
20	128	76	52	2	2	-	-	4	46	75	
21	119	68	51	1	1	4	-	2	40	72	
22	156	92	64	5	5	-	-	6	47	98	
23	158	94	64	2	2	4	1	2	52	97	

つづき

区分	G	上記ABCD	大学等進	うち通信教	専修学校	就職率	(人)(%)
	不詳・死亡 の者	のうち就職し ている者	学率	育部を除く	(専門課程) 進学率		
平成13年度	-	-	3.8	3.8	1.9	21.2	
18	-	-	2.6	2.6	-	43.6	
19	-	-	4.3	3.4	-	42.7	
20	1	-	1.6	1.6	-	35.9	
21	-	-	0.8	0.8	3.4	33.6	
22	-	-	3.2	3.2	-	30.1	
23	-	-	1.3	1.3	2.5	32.9	

## 4 不就学学齡児童生徒調査

### (1) 就学免除者数 (表 44)

就学免除者は1人であった。(女子1人)

### (2) 就学猶予者数 (表 44)

就学猶予者は6人であった。(男子4人、女子2人)

### (3) 1年以上居所不明者数 (表 44)

1年以上居所不明者はいなかった。

### (4) 学齡児童生徒死亡者数 (表 45)

平成22年度間の学齡児童生徒死亡者数は3人であった。(男子2人、女子1人)

表44 就学免除者数、就学猶予者数及び1年以上居所不明者数

(人)

区 分	就学免除者数			就学猶予者数			1年以上居所不明者数		
	計	学齡児童	学齡生徒	計	学齡児童	学齡生徒	計	学齡児童	学齡生徒
平成13年度	-	-	-	-	-	-	1	1	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	-	-	-	-	-	-	1	1	-
20	-	-	-	1	1	-	-	-	-
21	-	-	-	1	1	-	-	-	-
22	3	3	-	4	3	1	-	-	-
23	1	1	-	6	5	1	-	-	-

(注)1 「就学免除者」及び「就学猶予者」とは、5月1日現在市町村教育委員会から就学の免除又は猶予を受けている者である。

2 「1年以上居所不明者」とは、1年以上居所不明のため、学齡簿の編製上、就学義務の免除又は猶予を受けている者と同様に、別に簿冊を編製されている者である。

表45 学齡児童生徒死亡者数

(人)

区 分	死 亡 者 数		
	計	学齡児童	学齡生徒
平成12年度間	3	1	2
17	2	2	-
18	1	1	-
19	2	2	-
20	-	-	-
21	1	1	-
22	3	2	1



## 5 学校施設調査

### (1) 学校土地面積 (表 46) (私立の幼・中・高等学校及び公私立の専修学校、各種学校)

中学校は 641 m<sup>2</sup>で前年度と同面積であった。高等学校は 483,463 m<sup>2</sup>、専修学校は 149,804 m<sup>2</sup>、各種学校は 285,704 m<sup>2</sup>で前年度より増加、幼稚園は 49,771 m<sup>2</sup>で前年度より減少した。

表46 学校土地面積

(m <sup>2</sup> )					
区分	幼稚園	中学校	高等学校	専修学校	各種学校
平成19年度	52,071	641	483,859	145,987	66,332
20	54,129	641	483,859	146,311	66,332
21	51,871	641	483,854	146,311	245,978
22	51,504	641	483,452	146,031	252,832
23	<b>49,771</b>	<b>641</b>	<b>483,463</b>	<b>149,804</b>	<b>285,704</b>

### (2) 学校建物面積 (表 47) (私立の幼・中・高等学校及び公私立の専修学校、各種学校)

幼稚園は 13,817 m<sup>2</sup>、中学校は 3,883 m<sup>2</sup>で前年度と同面積であった。専修学校は 70,883 m<sup>2</sup>、各種学校は 9,886 m<sup>2</sup>で前年度より増加、高等学校は 97,803 m<sup>2</sup>で前年度より減少した。

表47 学校建物面積

(m <sup>2</sup> )					
区分	幼稚園	中学校	高等学校	専修学校	各種学校
平成19年度	14,144	3,351	97,544	68,367	6,839
20	14,144	3,863	97,987	68,367	6,839
21	13,817	3,351	97,987	68,167	7,187
22	13,817	3,883	98,033	68,259	9,884
23	<b>13,817</b>	<b>3,883</b>	<b>97,803</b>	<b>70,883</b>	<b>9,886</b>